APU校友会10周年記念イベント@大阪

立命館アジア太平洋大学 (APU)は いかにして割られたか

2014年5月24日 立命館アジア太平洋大学 初代学長 学校法人立命館 名誉役員 坂 本 和 一

はじめに: 立命館の歴史の中で

- 1869年→西園寺公望、京都御苑内私邸にて、私塾「立命館」
 - ※「立命」の由来は、中国古典「孟子」の尽心章句
 - ※ 西園寺は、若き日フランスに10年間留学し、明治時代の日本ではめずらしい「国際主義者」だった。
- ~1900年→立命館大学の前身「京都法政学校」創設→1905年西園寺より「立命館」の名称継承→ 「立命館大学」
 - 2000年→立命館創始130年・立命館学園創立 100周年→「立命館アジア太平洋大学 (APU)」創設





1. 日本初の本格的な国際大学APU

- 1. キーワードは、「迎え入れる国際化」
 - →キャンパスそのものを国際化し、世界で存在感(競争力)のある大学を創る。
 - ※「送り出す国際化」と決定的に、違う。
- 2. 約2,500名の国際学生(学生数の約45%)が 世界約80の国・地域からやってくる。
 - →日本国内学生約3,000名と共に学ぶ。
- 3. 卒業生は、すでに世界120を超える国・地域 に拡がる。
- 4. 専任教員の出身は27カ国・地域から。

- 5. 授業が日本語と英語、2本立てで行われる。
 - ・だから、日本語の事前準備がなくても、英語で入学 できる大学
 - ・日本語は、入学してからトレーニング
 - •APUの日本語教育力は、日本の常識を超える。
- 6. 教員の半数が外国出身者
- 7. 政府「グローバル30計画」のロールモデル
- 8. APハウスが国際交流に果たしている役割
 - いかにして、このような大学ができたのか。

2. 立命館は、なぜAPUを創設したか。

- 1. 「21世紀はアジア太平洋時代」
 - →立命館は、「アジア太平洋時代」の創造に貢献するグローバル人材の養成拠点をめざす。
 - ・APUが単なる「国際」大学ではなく、「アジア太平洋」 大学である理由
 - ・APUにはアジア太平洋地域だけではなく、「アジア太平洋」に関心をもつ世界中の志の高い若者が集まる。
 - →APUは「アジア太平洋」大学であるが、 「グローバル」大学である。
 - →APUのスローガンは「世界協学」

2. 国際舞台で世界の大学と競争できる大学を日本に創ろう!

- ・国際舞台では、世界の大学は、世界の有為の若者 の国際的な大学選択の目に晒されて、競争している。
- ・APUは国際「土俵」で勝負しよう。
- ・今、日本の大学で、本当に国際「土俵」に上がっているのは、APUだけ。
- •APUは大学間国際競争の厳しさを知っている!

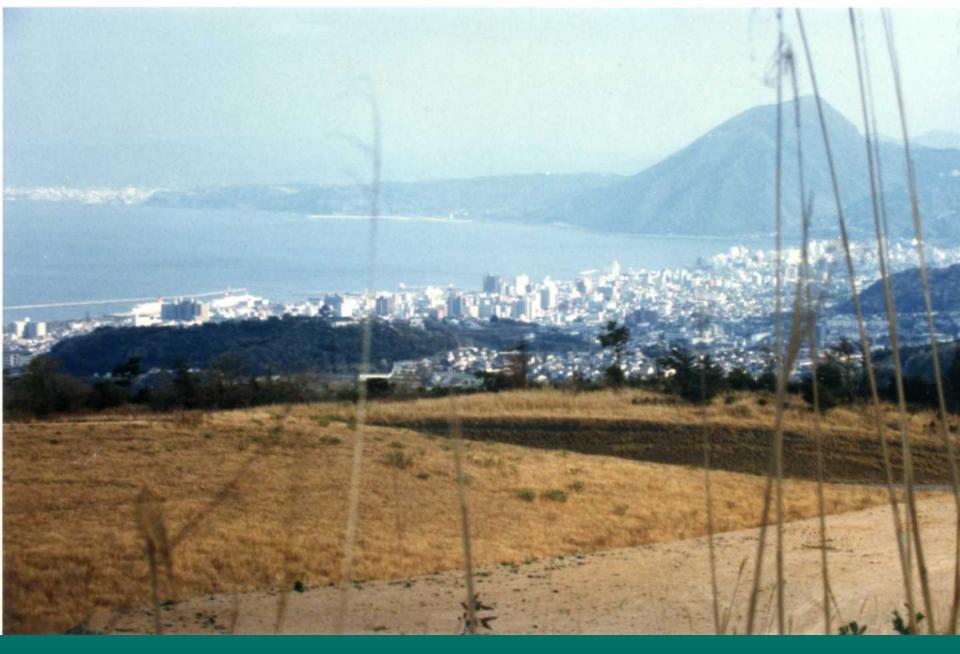
3. APUIT,

なぜ九州大分県・別府市にあるのか

- 1. 大分県からの大学誘致
- ・1994年4月、前大分県知事・平松守彦氏の英断
 - ・大分県の積極的なアジア外交政策と連携する新大 学の開設
 - →画期的な大型の地方自治体と学校法人の協力 (公私協力)が実現
 - ・大分県と別府市が土地の無償供与、施設設備投資 を大幅支援
 - •APUキャンパス開設に果した別府市の貢献
 - →公有地・十文字原を整地して無償提供



大分県前知事 平松守彦氏



APU以前、十文字原の原風景



工事中のAPUキャンパス(1998年ごろ)

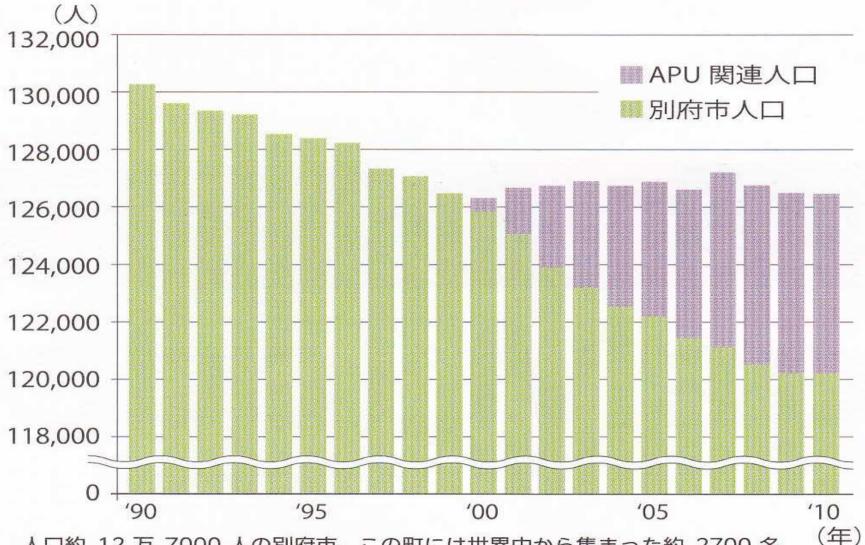


完成したAPUキャンパス(2000年4月)

2. 立命館にとって、大学誘致は大きな魅力

- ・国際関係学部開設(1988年)後の、立命館の国際化 新段階として、新しい国際大学創りに大きな魅力
- •「アジア太平洋時代」の新しい大学モデルの創造を めざして
- •「アジア太平洋時代」のハブとして九州立地の魅力
- ・立命館は、APUを先頭に、アジア太平洋地域のハブ 大学を目指す。
- ・大分県、別府市からの大型の財政支援
- •地域活性化に貢献
 - →APUの大分県への経済波及効果:年間211.7億円
 - →別府市の人口減への歯止め

別府市の人口推移



人口約 12 万 7000 人の別府市。この町には世界中から集まった約 2700 名の国際学生を含む約 6000 名の APU 学生・職員が学び、暮らしています。 APU 関連人口が別府市の人口に占める割合は 5.4%にもおよんでいます。

(「大学誘致に伴う波及効果の検証」2010年・大分県調べ)

4.「アジア太平洋」とは何か。

- 1.なぜ、世界の関心が「アジア太平洋」に集まるのか。
 - ・「アジア太平洋」は、21世紀の新しい文明進化の機軸になりつつある。
 - →「21世紀はアジア太平洋の時代」
 - →「アジア太平洋」が21世紀のグローバル・スタン ダードを創る。
 - 「アジア太平洋」は、単なる地域概念ではない。
 - →「アジア太平洋」は現代の文明概念
 - →「アジア太平洋文明」の時代
 - ・今日のアジア太平洋地域の経済発展は、その表れである。

- 2. 人類文明は異なる文明同士の交流で進化する。
 - ・進化の先端は、地域間を遷移(移動)する。
 - ・紀元前約4,000年ユーラシア古代文明(メソポタミア、 エジプト、インド、中国)
 - →紀元前8世紀以降、ギリシャ・ローマ、地中海、中東、アメリカ新大陸の諸文明
 - →17世紀~20世紀、ヨーロッパ・アメリカ(欧米)文明 の時代
 - →21世紀: 欧米文明とアジアの諸文明の結合(東西 文明の結合・融合: 「アジア太平洋文明」の可能性
 - ・「アジア太平洋文明」の最大の課題は、「サステナブル社会(持続可能な社会)」の構築

Transition of the Leading Regions of Civilization

